

会費納入のお願い

年会費 2,000円
郵便振替口座番号 00140-8-549806
連絡/お問い合わせ先は 事務局へ
TEL 03-5375-1350

あまたか News 関東

熊本県立天草高等学校 同窓会 発行 関東支部

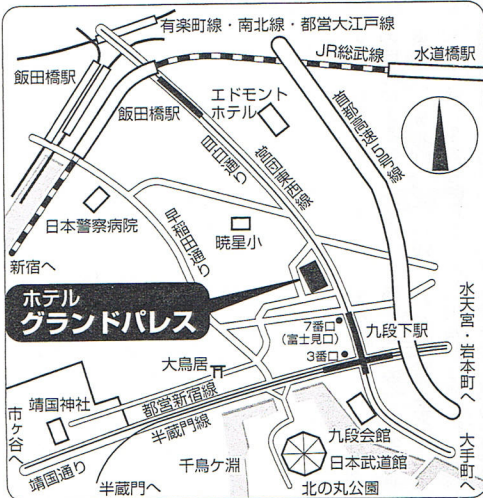
発行人 小川 矩正
編集人 平田 俊清
印刷所 東日印刷株式会社
同窓会事務局 池崎 カヨ子
〒173-0011 東京都板橋区双葉町12-8(株)ポプラ内
TEL 03-5375-1350 FAX 03-5375-1305

第18回 総会懇親会

開催案内

今年も関東あまたか会の 成人式!

出席のハガキ忘れないように! みんなで参加しよう



- 日時/平成15年2月22日(土) 午前11時より受付開始
場所/ホテル グランドパレス
交通機関
●地下鉄「九段下駅」より徒歩1分
●JR・地下鉄「飯田橋駅」より徒歩7分
●東京シティエアーターミナル(半蔵門線「水天宮前駅」)より10分

あまたか会関東支部の皆様、明けましておめでとうございます。皆様、お揃いでお元気に新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。日頃はあまたか会の活動にご支援ご協力を戴き厚くお礼申し上げます。前回総会では外園一人先生(高六)の一人生の春夏



会長 小川 矩正 (高五)

あまたか会関東支部も昭和五十八年(一九八三年)に発足して二十年、成人式を迎える年に成りました。天高卒業の諸先輩の方々と、一度天草弁で語り合

ではないでしょうか。「こんなきょうさんな人がねえ、集まってくれて」と語る浜本富貴恵さんのように、ふるさと言葉でそれぞれの現況を語り合い、また懐かしいふるさとを思いを馳せながら過ごすひとときが人間関係を親密にし、天草人としての連帯感を芽生

新春のごあいさつ
新年あけましておめでとうございませす
本年もよろしくおねがいいたします
特別講演 二月二十二日の 総会懇親会
講師 殺陣とアクションスター・堀田 眞三さん(御所浦出身) 東映十一年生
映画 またまたあぶない刑事、極道三国志、親分はイエス様等と荒ぶる



竹中直人さんと並ぶ堀田さん

魂、バトルスチーム、シリーズワールド等
米英の映画にも出演
TV 水戸黄門、鬼平犯科帖、暴れん坊将軍、大岡越前等の人気番組に出演
ビデオ映画 「実録・鯨道」
①広島ヤクザの終焉「斬侠」では主演として活躍されています。身近な、楽しい講演です。お楽しみに!
◇アトラクション
「相州流傳太鼓」の実演
代表 古谷 米久さん

山本電設株式会社

代表取締役

山本 忠義 (15回生) (五和町城河原出身)

〒211-0016 川崎市中原区市ノ坪548番地
TEL 044-433-8000 FAX 044-433-3838

税理士

山本 清

(高13回生 五和町鬼池出身)

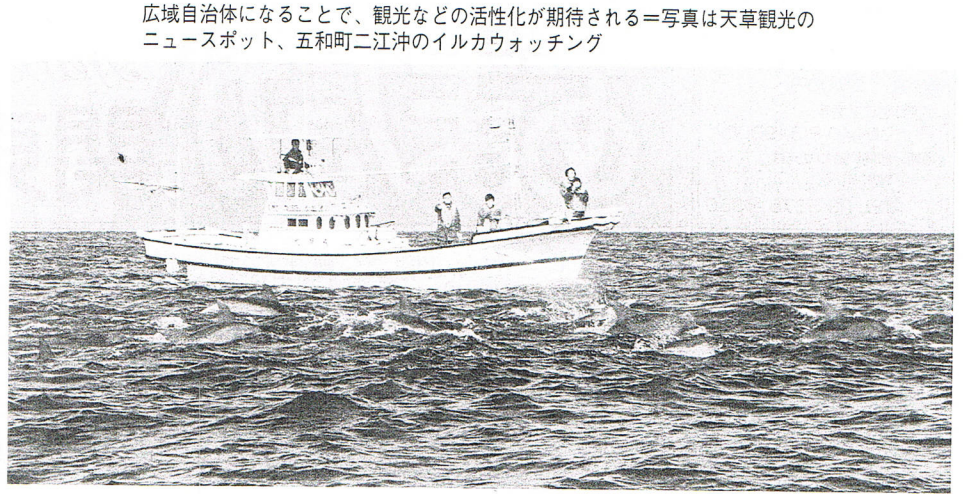
税務及会計の指導、相談、申告、代理

自宅/〒168-0073 東京都杉並区下高井戸4-26-7
TEL03-3303-1395
事務所/〒103-0015 東京都中央区日本橋筋崎町16-11-202
TEL03-3668-1901 FAX03-3668-3885



# 第1回 平成の市町村合併

とかく東京においては、ふるりの動きが分らない。そこで、最新の天草情報をお伝えする「今、ふるりは...」シリーズを随時掲載する。第一回は、只今進行中の「平成の市町村合併」。「天草全体が一つにまとまるとはどうか」という県の提案で始まった。結局、一本化はできなかつたが、三つにまとまる。大半の皆さんにとって、二年後までに、出身地の地名が変わることになる。本校OBの毎日新聞西部本社(北九州市) 事業部副部長、川上敏文さん(倉岳町出身)に寄稿をお願いした。天草通信部主任や佐世保支局長などを勤めた第一線の新聞記者である。

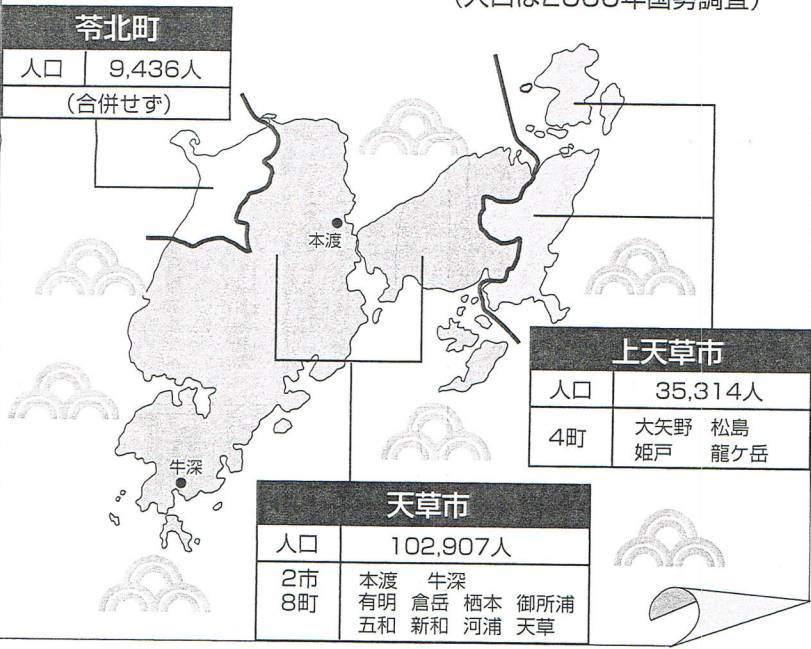


現在、二市十三町の天草を、二年後の二〇〇五年春までに三つの行政区にまとめる計画が進められている。「平成の市町村合併」である。これまで「天草は一つ」の合い言葉で、行政を中心に天草観光も展開されてきたが、分割は必至で、島民も複雑な思いだ。

三つの行政区は、上島の大矢野、松島、姫戸、竜ヶ岳の四町による「上天草市」、単独の「峇北町」、その残りの本渡、牛深の両市と八町で作る「天草市」。この二市一町になる。

この合併は、国の合併特例法(期限・二〇〇五年三月末)に伴って進められている。県の出先「県天草事務所」が中心になって、天草を一つに束ねる形で進めていた。昨年四月、法定協議会前の任意団体・天草合併協議会が作られた。しかし、大矢野など四町は、独自の合併協議会を作り、「熊本市とも近く、独自の市を」と模索。合併特例法

## 平成の市町村合併後の姿 (人口は2000年国勢調査)



の「三万人以上で市制に昇格」することを決めた。人口は、四町合わせて三万五千三百四十人(二〇〇〇年十月の国勢調査)で市制に移行する。時期は来年二〇〇四年三月三十一日で、「天草市」より一年早い。名前の「上天草市」は、昨年暮の十二月十二日に決まった。三年前の天草空港開港の準備段階でも、大矢野、松島、姫戸の三町を中心に「わが町は熊本空港に近く、利用価値は薄い」として、天草空港の誘致に消極的。また観光客誘致のキャンペーンも、本渡、牛深など比べて温度差があった。一方、峇北町は、火力発電所を抱え、固定資産税収入も大きい。県事務所は「県内でもトップクラスの税収」と言うほど、財政的に豊かな町である。それだけに町は任意協議会で、合併するとしたら、この税収の一部を同町だけに「優先配分」するようにと提案した。しかし、他の市や町がこの提案を受け入れなかつた。このため一合併せず、二〇〇五年以降も単独町で継続することを議会で決め、昨年九月初めに任意協議会を脱退した。人口は九、四三六人(国勢調査)である。その残りの二市と八町(有明、倉岳、栖本、御所浦、五和、新和、河浦、天草町)が「天草市」を目指す。人口は一〇万二、九〇七人(国勢調査)になる。合併は二〇〇五年一月十五日。同年三月までに新しい市長、市議(定数三十四)を決める選挙を行うことが昨秋決まった。

これまでも明治二十二年、昭和二十九年に大規模な町村合併が進められた。百年以上前の明治には、上島二十七村、下島三十八村の計六十五村あった。昭和の合併で現在の二市十三町に集約されている。島々は百二十余といわれ、有明海、八代海(不知火海)、天草灘の三つの海に囲まれ、地形からする、

まかせて下さい  
**腕に自信あり!**  
比べて下さい  
**価格に自信あり!**

お見積り訪問プレゼント!  
お見積り訪問をさせていただきます。いただいた方にアッシュ、ゴミ袋、洗剤のいずれか1点を差し上げます。

お得意さん  
お見積り無料の  
お見積り券を  
6枚お持ちください

シングル	1人	¥13,500.00
カップル	2人	¥24,500.00
大家族	3人以上	¥51,000.00

Smile スマイル引越しセンター  
東京センター ☎0120-578825  
受付時間 8:00~21:00 年中無休

株式会社 銀座千福  
代表取締役  
**黒瀬 日出男**  
(峇北町・富岡出身)

日本料理  
銀座千福

天草郷友会 宅配システム  
天草の農・水産物など  
年会費 一五、〇〇〇円  
年三回(三・六・十月)  
一回当たり五〇〇〇円  
相当以上お届け

銀座千福 〒104-0061 東京都中央区銀座7-15-5  
TEL.03(3543)1029 FAX.03(3543)0209

### 事務局だより

平成14年7月1日以降年末までの会費納入者は次の221名の方です。  
 平成14年の会費納入者の総計370名でした。ありがとうございました。  
 なお、入金確認において事務手続き上、記載もれの方にはお詫びいたします。  
 会費納付に厳しい運営をしておりますので、是非会費のご納入にご協力をお願いします。  
 会費納入有難うございました。  
 平成15年度の会費納入も是非、同封の振込用紙にてお願いします。  
 なお、2月22日の総会会場受付でも会費納入ができます。

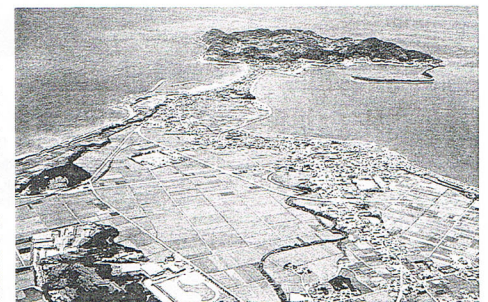
#### 会費納入について

#### 平成14年7月～12月末までの会費納入者

推薦	原田 昭好	酒井ノブ子	中村 惇	桧垣 正己	亀子 昂	高-14	大坪 里子
井上 正規	中37	併女-2	長島 大作	大堂三十郎	小林 惟那	大須美智子	高20
山下用三郎	相良 謙雄	豊田 悦	木田 研一	加藤 博	本多 勝則	橋本 順子	赤石 修一
中24	田島 國雄	山内須賀子	西岡 真一	田崎 弘吉	船田 紀年	松岡 秀枝	安斉さき子
川原大三郎	村上 賢一	高-1	平井 忠明	福井 幸人	永井 建二	小橋 邦子	小野 正寛
河野 道忠	中38	堀田 倫男	山崎 純郎	宮本 信綱	岩田 実栄	清水 一男	山口 涼子
中25	江崎 優之	園田 司	原田忠四郎	森本 雅生	神田 幸男	瀬上不二江	杉山妃都美
下門 祥人	鶴田 郁雄	高-2	玉田 元康	石原 靖誠	毛利 嘉子	數上 親晴	高21
新納 徳男	中39	宮本 敏夫	浜 文雄	高-8	高-11	高-15	岩下 好夫
中26	三浦善四郎	吉田 孝	大野 禎子	上田 逸夫	市山 新一	石田 靖典	沓掛 富美
深水 光雄	併中-2	川崎 君男	菊地美代子	岡本 豊子	加藤イセミ	森 健志	榎木 和子
中28	宮崎 英典	高-3	宮本 恭栄	久保 和子	久保 和子	井上 義通	川原 照文
松下 高光	和田 重司	相良 豊	古城 守一	竹馬 久雄	竹馬 久雄	鶴田小夜子	森 玉恵
中30	中村 琢摩	小倉 朴子	三浦 武久	角田 龍爾	角田 龍爾	長野田鶴子	高22/23
川野 弘能	高女-13	泉 道男	明瀬 博彦	富田 俊男	富田 俊男	山下 好治	奈良崎孝佳
赤城 正	丸山 シズ	高橋 君子	岡村 一成	三澤 哲也	三澤 哲也	吉永 靖子	有馬 衛
中31	高女19	森田繁子	江崎 康彦	星野久米子	星野久米子	高-16	須崎 律代
毛利 優	吉坂みよし	高-4	池田 順一	新 征男	新 征男	園田 達彦	吉田 和子
中32	大塚トシ子	山口 康徳	川野辺サツキ	池田 順一	池田 順一	高野 恵子	岡田 綾子
金子 敏男	大高ナツエ	川野辺サツキ	田口 雅洋	小畑 幸保	小畑 幸保	永野 和輝	糸野 良二
中33	高女24	田口 雅洋	古山 正幸	南 賢一	南 賢一	松尾 和幸	高25
坂本 薫	高柳 タツ	今井 啓子	山下 景由	高柳 タツ	高柳 タツ	井上 雄介	藤川 富次
池田 俊宜	高女25	今井 啓子	小松千枝子	高女28	高女28	齋藤佐智子	帯部 力男
中34	小玉 洋子	高女28	浜辺 昌洋	岡部由美子	岡部由美子	塘中 茂之	荒川さなえ
高女28	高女28	高女28	井上 彬	川口喜代子	川口喜代子	山口 泰教	高27
柴田 定喜	岡部由美子	岡部由美子	長谷川博子	長谷川久美子	長谷川久美子	中嶋昌加洲	山本 洋子
中35	川口喜代子	川口喜代子	橋本カツ子	橋本カツ子	橋本カツ子	高-18	高-30
福井 留男	長谷川久美子	長谷川久美子	宗村 賢	宗村 賢	宗村 賢	高-19	高-34
松本 康男	高女31	高女31	高-5	高-5	高-5	高-19	高-34
猪股 昭三	井上志津枝	井上志津枝	森 廣司	森 廣司	森 廣司	高-19	高-34
吉永 貴	高女32	高女32	川口 保男	川口 保男	川口 保男	高-19	高-34
梶原 嘉辰	肥前 孝子	肥前 孝子	小林 武市	小林 武市	小林 武市	高-19	高-34
近藤 忠	袁田 俊子	袁田 俊子	坂本佳奈子	坂本佳奈子	坂本佳奈子	高-19	高-34
松浦 康一	併女-1	併女-1	田口多美男	田口多美男	田口多美男	高-19	高-34

九州のへそに位置する。魚種も豊富だが、近年、イワシがまったく獲れず、牛深市を中心として一次産業は不振のまま。農業も特産品の開発が遅れている。また、観光客数(宿泊、日帰り含む)は、異事務所によると「三十四年前の天草五橋開通時には、阿蘇と並ぶ五百万人だった。しかし、二〇〇一年の統計では、天草五百万人、阿蘇千八百万人と三倍以上差が出てきている」という。

「市町村合併は究極の行政改革」と言われる。これまでの市や町の壁を取り払った観光資源の新しい組み合わせや開発、大規模で活発な誘致活動など、地域ぐるみの観光行政の活性化、天草の持ち味を活かした産業振興が期待される。さらに新しい行政サービスへの対応や、財政的に国からの自立度を高めるなど、合併をプラスに転じる行政のビジョンと行動が問われることになりそうだ。



財政の豊かな苓北町は「合併せず」の道を選んだ＝写真は同町の中心、富岡の市街地(苓北町提供)

#### 解説

「平成の市町村合併」国と同様、地方財政も税収が減り、ひっ迫の度合いが強まっている。また、2000年春スタートした介護保険ひとつをとっても、小さな自治体では、十分なサービス提供ができにくい。こうした状況の変化、特に①地方分権の推進、②少子高齢化の進展、③国・地方の財政悪化——に対応するため、国が市町村合併を推進しているものである。その促進のため、2005年3月末までに合併すれば、合併後に道路や下水道を整備する特別債を発行できる特別法ができています。半面、合併をしない人口1万人未満の小規模自治体は、業務を住民票写しの交付など窓口業務に限定し、他は都道府県に移管するか、隣接自治体に強制編入させる案が政府や自民党で検討されている。

#### 鶴田 一郎

(高25)



個展

期日 5月8日(木)～26日(月)  
 場所 日本橋三越

期日 9月3日(水)～9日(火)  
 場所 東京大丸

あまたか会の芸術家大活躍！  
 ぜひ、お立ち寄りください！

#### 第6回 横島 庄司

(高31)



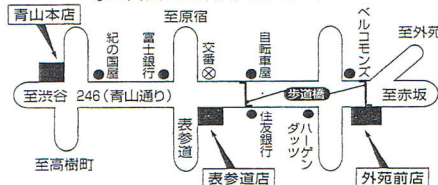
個展

期日 2月4日(火)～15日(土)  
 場所 ギャラリー窓

銀座7丁目13-1  
 GIN-ASAビル5階



株式会社 長谷場商事  
 青山本店 店長  
**長谷場 亮祐** (天高11回生)  
 「店内利用無料開放」学年幹事の皆さんへ！！  
 15:00～17:00の時間帯は同期の集まり等に自由にご利用ください。



〒107-0061 東京都港区北青山3-12-7 カプリース青山2F TEL 03-3420-7151

輸出入通関、倉庫、運送の御用命は！！  
 東京港、横浜港の通関「OK」

#### 新日本港運株式会社

代表取締役

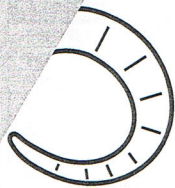
#### 中嶋 昌加洲

(17回生 本渡)

〒105-0013 東京都港区浜松町2-6-8伸和ビル501  
 電話03-3432-7221 FAX03-3432-7350

横浜支店 横浜市中区常盤町2-15三洋ビル201  
 電話045-641-8461(代) FAX045-641-8467

# 20周年おめでとう



副会長  
**荒木 克也**  
(高6)  
千葉県船橋市三山1-28-2  
047 (475) 2566

副会長  
**酒井 孝幸**  
(高5)  
千葉県我孫子市中峠3759-3  
0471 (88) 8020

顧問兼学年幹事  
**泉 道男**  
(高3)  
川崎市中原区木月340  
044 (422) 0635

顧問兼学年幹事  
**廣田 和史**  
(高4)  
茨城県つくば市高見原3-4-37  
0298 (74) 3400

相談役兼高女学年幹事  
**松本 雅子**  
(高女27)  
埼玉県新座市新堀3-11-44  
0424 (91) 3275

相談役  
**井上 正規**  
(天中23)  
三鷹市中原1-8-27  
03 (3300) 7852

相談役  
**大野 俊康**  
(天中30)  
小金井市本町2-20-9ハイホーム武蔵小金井104  
042 (387) 6842

事務局兼会計企画学年幹事  
**坂本 秀明**  
(高25)  
板橋区赤塚1-17-20サンパレス赤塚505  
03 (3938) 1008

会計監査  
**塘中 茂之**  
(高17)  
戸塚区下倉田町1951-10-B-609  
045 (866) 0938

会計監査  
**花里 安明**  
(高21)  
練馬区三原台1-14-34  
03 (3867) 5917

企画部長兼学年幹事  
**中嶋 昌加州**  
(高17)  
横浜市青葉台桂台1-12-13  
045 (961) 2084

企画部副部長  
**竹地 郁郎**  
(高14)  
茨城県牛久市南4-10-32  
0298 (73) 7101

広報部副部長  
**森 廣司**  
(高5)  
相模原市麻溝台エステートマスタグ201号  
042 (748) 5553

事業部長兼学年幹事  
**山本 清**  
(高13)  
杉並区下高井戸4-26-7  
03 (3303) 1395

事業部副部長  
**長谷場 亮祐**  
(高11)  
世田谷区梅丘2-15-6  
03 (3420) 7151

事業部副部長  
**富山 訓全**  
(高8)  
埼玉県鳩ヶ谷市南3-11-2  
048 (283) 5085

婦人部長  
**坂本 禎子**  
(高16)  
茨城県稲敷郡聖崎町森の里29-6  
0298 (76) 3407

学年幹事  
**鶴岡 庄次郎**  
(高5)  
目黒区中目黒2-3-12-102  
03 (3711) 0089

学年幹事  
**木原 壮一郎**  
(高6)  
茨城県取手市寺田4826-38  
0297 (78) 5523

学年幹事  
**木原 健一郎**  
(高7)  
目黒区東が丘1-27-16  
03 (3418) 0074

学年幹事  
**宮口 泰**  
(高8)  
相模原市古淵1-18-20-702  
042 (733) 7513

学年幹事  
**大塚 満**  
(高9)  
千葉県茂原市法目2828-18  
0475 (34) 5395

学年幹事  
**山下 義孝**  
(高21)  
世田谷区烏山3-13-19-502  
03 (3305) 0265

学年幹事  
**奈良崎 孝佳**  
(高22)  
横浜市青葉区荏田西1-6-10  
045 (972) 0969

学年幹事  
**岩野 都美子**  
(高23)  
川崎市麻生区上麻生3-16-1-509  
044 (965) 1205

学年幹事  
**緒方 静雄**  
(高23)  
江戸川区東小岩1-8-11  
03 (3671) 8153

学年幹事  
**田中 富喜**  
(高24)  
中央区日本橋小舟町4-17-バス第1ビル  
03 (3664) 0880

学年幹事  
**山崎 つる子**  
(高31)  
千葉県船橋市芝山5-18-25  
047 (462) 4377

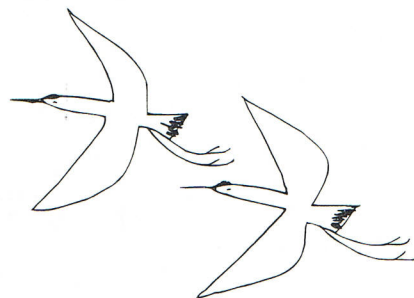
学年幹事  
**横島 庄司**  
(高31)  
川崎市中原区今井582黒岩荘102  
090 (7209) 7474

学年幹事  
**野口 駒江**  
(高32)  
川崎市多摩区長尾2-6-8-103  
044 (900) 6085

学年幹事  
**濱崎 幸美**  
(高33)  
千葉県船橋市前原東4-13-8-402  
047 (477) 3971

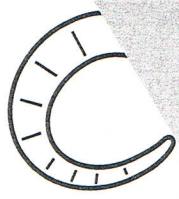
学年幹事  
**稲田 稔**  
(高34)  
品川区南品川4-14-15-201  
03 (5479) 6262

学年幹事  
**久保 雅洋**  
(高37)  
神奈川県厚木市泉町12-7  
046 (229) 7187



(高39)  
区和泉町2830  
03 (5) 7592

# 関東あまたか会創立



会長

小川 矩正 (高5)  
横浜市南区六ッ川2-3-195  
045 (713) 7904

副会長

下川 洋子 (高15)  
川崎市中原区丸子通り1-636-509  
044 (411) 2892

<b>幹事長兼学年幹事</b> <b>山田 清</b> (高12) 千葉市緑区おゆみ野中央8-34-22 043 (300) 0050	<b>副幹事長兼学年幹事</b> <b>大塚 公男</b> (高16) 横浜市青葉台鶴志田町557-22 045 (962) 1852	<b>副幹事長</b> <b>鶴田 芳久</b> (高6) 板橋区高島平5-45-13 03 (3975) 5416	<b>副幹事長</b> <b>江崎 政継</b> (高5) 練馬区関町北4-33-28大関山ハイイツ107 03 (3920) 5672	<b>顧問</b> <b>西 功</b> (高2) 埼玉県越谷市東柳田町10-24 0489 (62) 8058	<b>顧問兼学年幹事</b> <b>森下 一</b> 埼玉県越谷市 04
<b>相談役兼天中学年幹事</b> <b>梶原 嘉辰</b> (天中35) 豊島区要町1-22-18第3階マンションB101 03 (3957) 0145	<b>相談役</b> <b>相良 諫雄</b> (天中37) 埼玉県入間市小谷田1518-430 042 (965) 9909	<b>相談役</b> <b>原田 芳矢</b> (天中37) 多摩市貝取2-6-14-305 042 (375) 0157	<b>相談役兼学年幹事</b> <b>宮崎 寅二郎</b> (高1) 武蔵村山市緑ヶ丘1460-33-410 042 (565) 9544	<b>相談役</b> <b>井上 武夫</b> (高4) 足立区竹の塚6-13-2-1201 03 (3885) 2831	<b>事務局長兼会</b> <b>池崎 大</b> 板橋区 03

<b>企画部副部長</b> <b>木原 理一郎</b> (高11) 千葉市美浜区磯辺6-2-3-103 043 (278) 4650	<b>財務部長兼学年幹事</b> <b>山本 忠義</b> (高15) 川崎市中原区市ノ坪548 044 (433) 8000	<b>財務部副部長兼学年幹事</b> <b>川原 照文</b> (高21) 千葉市美浜区稲毛海岸4-9-1-B-916 043 (244) 0234	<b>財務部副部長</b> <b>佐々木 猛二</b> (高5) 町田市南成瀬7-13-2 042 (726) 5991	<b>広報部長</b> <b>平田 俊清</b> (高10) 海老名市東柏ヶ谷1-18-21 046 (232) 5942	<b>広報部副部長</b> <b>伊藤 由</b> 川崎市 0
<b>婦人部長</b> <b>小森 友恵</b> (高4) 東村山市美住町2-4-10秀山荘105号 042 (392) 1988	<b>婦人部長</b> <b>中村 和子</b> (高2) 品川区南大井6-8-1-1333 03 (3763) 6866	<b>婦人部副部長</b> <b>山本 和子</b> (高13) 千葉県船橋市夏見台3-101-1-7 047 (430) 1396	<b>婦人部副部長</b> <b>相場 須美江</b> (高15) 小金井市貫井南町1-14-20 042 (301) 2572	<b>婦人部副部長</b> <b>稲岡 珠子</b> (高6) 横浜市戸塚区品濃町525-1-4-603 045 (825) 1861	<b>学年幹事</b> <b>大坂 由</b> 吉川市きよみ野15 0

<b>学年幹事</b> <b>鳥羽瀬 建男</b> (高10) 杉並区宮前2-4-22 03 (3331) 9755	<b>学年幹事</b> <b>松本 紀子</b> (高11) 神奈川県座間市入谷5-2236-73 046 (256) 5674	<b>学年幹事</b> <b>鶴田 和子</b> (高11) 世田谷区三宿1-3-4-1201 03 (3410) 2790	<b>学年幹事</b> <b>猪股 均</b> (高18) 練馬区北町6-27-10 03 (3931) 8052	<b>学年幹事</b> <b>荒木 統司</b> (高19) 茨城県北相馬郡利根町布川454-241 0297 (68) 3964	<b>学年幹事</b> <b>赤石 由</b> 柳川市 0
<b>学年幹事</b> <b>真鍋 裕紀子</b> (高26) 世田谷区粕谷1-16-15-301 03 (3329) 4812	<b>学年幹事</b> <b>上田 倫嗣</b> (高26) 板橋区高島平3-11-9-207 03 (3975) 4028	<b>学年幹事</b> <b>岡崎 松志</b> (高27) 埼玉県久喜市上早見37-2 0480 (23) 0494	<b>学年幹事</b> <b>福永 洋一郎</b> (高28) 杉並区荻窪5-19-13 03 (3398) 8489	<b>学年幹事</b> <b>金子 直子</b> (高29) 川崎市麻生区細山3-15-4 044 (955) 0321	<b>学年幹事</b> <b>松下 由</b> 世田谷区 0

<b>学年幹事</b> <b>山口 由美</b> (高35) 江東区豊洲4-10-16-968 03 (3531) 4714	<b>学年幹事</b> <b>根津 幸</b> さいたま市神田1 0
---	---

今年「あまたか会の成人式」です。会の益々の発展と会員の皆様、ご家族のご健勝をお祈りいたします。



<b>学年幹事</b> <b>船田 和</b> 横 0
--------------------------------------

# 同窓生の近況

## 「名刺」のGUY

木原 莊一郎 (高六)



会社勤務を終えて、既に七年が経った。何にも、また誰にも拘束されず、自由に好きなことに使える時間を持つことは、想像した以上に一日を有効に過ごすことになり、お付き合いも、自分のペースで来るのが嬉しい。

言うよりも、常にその組織の立場や地位を無意識の内に、個人的に活用していたことに他ならない。

組織を離れ、自分の意思で人と会うことは、肩書などとは意味もないし、価値もないと実感したとたんに、何だかすっきりした気分になったわけである。……と偉そうな事を

書いたが、実は最近名刺を作った。住まいや連絡先をその都度メモで渡すのが面倒なので、絵や写真などのきれいなカレンダーの裏を利用し、ワープロで作った手作りの名刺である。当然ながら名前と住所、電話番号が入っている。

キレイに完成した名刺を家人に自慢すると一覽した後、冷やかかにも「どこでも使える『迷子札』ですよ。」と、一言で切り捨てられた。



最上家の家臣、林崎甚助源重路にも乗り込んでいたそうである。幼い頃、父が語ってくれた外国の珍しい話の奇心で、どれほど私の好奇心を刺したかでしょう。きっと大人になったら父と同じ旅をしよう、いつも思っていたのです。澄んだ星空の下、スエズ運河を通りました。父はよくこの航路の話をしてくれました。夜空にかかる天の川をみていると、父が隣に立っているのを感じました。

銀漢や父も仰ぎしスエズ航路「飛鳥」の白い航跡が、今も胸の中に流れています。

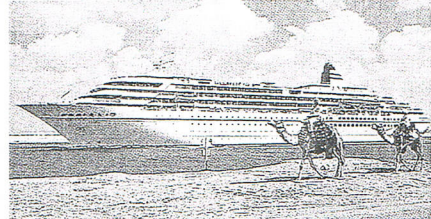
## ワールドクルーズを楽しんで

鶴岡 和子 (高十一)



子供の頃読んだ童話で、どこへでもあつたという魔法の杖のあつたことを知り、欲しいと思っておりましたが、とうとう手に入れました。

その杖が日本郵船の「飛鳥」だったのです。昨年の四月五日から七月十六日迄の世界一周クルーズですが、毎朝、目が覚めデッキにでると、もうそこには憧れていた未知の国が、港が、町が目の前に魔法のように広がっていたのです。そこから始まった物語の数々は、魅惑に満ち溢れ、毎日がわくわくするような発見の連続でした。



エジプト・スエズ運河を航行する飛鳥

船に勤め、船長として外国航路にも乗り込んでいたそうである。幼い頃、父が語ってくれた外国の珍しい話の奇心で、どれほど私の好奇心を刺したかでしょう。きっと大人になったら父と同じ旅をしよう、いつも思っていたのです。澄んだ星空の下、スエズ運河を通りました。父はよくこの航路の話をしてくれました。夜空にかかる天の川をみていると、父が隣に立っているのを感じました。

## 明日はわが身

酒井 孝幸 (高五)



昨年八月八日同窓生N君の葬儀があり、通夜に参列した。六八歳の別れであった。本年三月は天高卒業五十周年の節目に当たり、八月には本渡市で天五会記念同窓会も予定されており、早すぎた死が残念でならない。本会報第十一号(平成十四年一月)の七面に「六七歳の夫」として奥様に寄稿をお願いし記載されており、病状の経過については省略するが、同じ年代として身につまされる思いである。

彼との出会いは昭和二十五年(一九五〇年)天高啓明寮での生活からである。もの静かな振舞いと真面目さ、正義感の強い人、との印象が残っているが、その後お互いにそれぞれの道へ進み、再会したのは五十歳近くになってからの同窓会の席であった。それから天五会ゴルフコンペ等で年一回くらいは会い、近況を話し合う機会も多くなっていったが、六十歳近くになってお互い定年期に近づいた頃、彼の元気のなさ、存在感のうすさが目立つようになり、そして同窓会やコンペ等にも姿を見せなくなり、気になっていったところ、同市内に住むO君より、彼の病状良くないらしい、入院加療中との話が伝えられ、そして今回の計報となった次第であった。

## 富士山

太田 昭博 (高六)



ベランダから見える富士山も十一月に入るとすっかり雪化粧となりますが、これからは一番美しく見える季節です。昨年七月義弟が富士山に登りたいと上京してきましたが、台風七号が迷走、鈍行をくり返し、関東を通過し、三陸沖に達した時、新宿発吉田富士山五合目行に乗車しました。

思えば三十年前、昭和四六年、夏に三回登ったことがありました。二回目は六六歳の父(天中十四日)と登った時、頂上付近で人影が無くならず、八月三日と言うのに雪が降りだしました。真っ白に積雪した中で二人だけの貸切の富士山頂で、毎ビールで乾杯しました。この事が父の終生の自慢話となり、焼印の沢山押された金剛杖が宝物となりました。

正午少し前に登山道に入りました。富士地方の天気予報は雨、台風の余波が残っているのか1kmも行かないうちに小雨が降ってきて、激しくなるとすっぱり雪化粧となりますが、これからは一番美しく見える季節です。昨年七月義弟が富士山に登りたいと上京してきましたが、台風七号が迷走、鈍行をくり返し、関東を通過し、三陸沖に達した時、新宿発吉田富士山五合目行に乗車しました。

思えば三十年前、昭和四六年、夏に三回登ったことがありました。二回目は六六歳の父(天中十四日)と登った時、頂上付近で人影が無くならず、八月三日と言うのに雪が降りだしました。真っ白に積雪した中で二人だけの貸切の富士山頂で、毎ビールで乾杯しました。この事が父の終生の自慢話となり、焼印の沢山押された金剛杖が宝物となりました。

正午少し前に登山道に入りました。富士地方の天気予報は雨、台風の余波が残っているのか1kmも行かないうちに小雨が降ってきて、激しくなるとすっぱり雪化粧となりますが、これからは一番美しく見える季節です。昨年七月義弟が富士山に登りたいと上京してきましたが、台風七号が迷走、鈍行をくり返し、関東を通過し、三陸沖に達した時、新宿発吉田富士山五合目行に乗車しました。

思えば三十年前、昭和四六年、夏に三回登ったことがありました。二回目は六六歳の父(天中十四日)と登った時、頂上付近で人影が無くならず、八月三日と言うのに雪が降りだしました。真っ白に積雪した中で二人だけの貸切の富士山頂で、毎ビールで乾杯しました。この事が父の終生の自慢話となり、焼印の沢山押された金剛杖が宝物となりました。

正午少し前に登山道に入りました。富士地方の天気予報は雨、台風の余波が残っているのか1kmも行かないうちに小雨が降ってきて、激しくなるとすっぱり雪化粧となりますが、これからは一番美しく見える季節です。昨年七月義弟が富士山に登りたいと上京してきましたが、台風七号が迷走、鈍行をくり返し、関東を通過し、三陸沖に達した時、新宿発吉田富士山五合目行に乗車しました。

思えば三十年前、昭和四六年、夏に三回登ったことがありました。二回目は六六歳の父(天中十四日)と登った時、頂上付近で人影が無くならず、八月三日と言うのに雪が降りだしました。真っ白に積雪した中で二人だけの貸切の富士山頂で、毎ビールで乾杯しました。この事が父の終生の自慢話となり、焼印の沢山押された金剛杖が宝物となりました。

り、雨具を着て歩きだしました。雨は益々激しくなり霧まで出てきました。登山者がかなり下山して来ましたが殆ど外国人でした。七合目付近から体調がおかしくなり始めました。高山病になってしまったのです。小白雲山荘に倒れこみました。小屋のおかみに「エレベレストに無酸素で登った外国のプロが二年前、七合目で倒れたこともありません」と慰められました。夜明け前、小屋の中がわたくしだけになり、皆が発射しているのです。気分は悪いので行けるところまで行こうと歩きはじめた頂上に着いて帰りは御殿場コースをおりることにしました。富士山登山駅伝のコースで近く大会が行われる様で、各所で選手が練習していました。下山が一番楽しい砂走りに来た所で足が動かなくなってしまいました。どうにか下まで降りたが完全に足が動かなくなり、携帯で御殿場のタクシーを呼ぶが電波が届かない。義弟を太郎坊まで先に行かせたタクシーを呼んでくれる様に頼む。一時間くらい待っていると、茶店の親父と軽トラックで迎えに来てくれ、無事収容された。

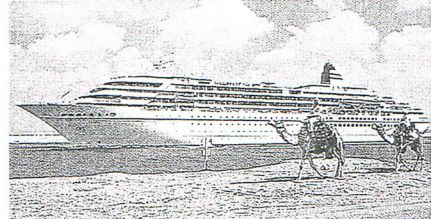
## 層合抜刀術

新 征男 (高八)

剣豪小説や講談等で「抜いたと思つたらもうパチリと響鳴りがして納刀していた。斬られた者は斬られたのが判らず歩いていくが、しばらくしてから首が胴から離れて落ちた。」というような話が良く出てきます。誇張された作り話ですが、層合というこのよくな素早い抜刀と納刀を表現しているようです。昔の武士はどこに居ても、不意打ちされたい未知の国が、港が、町が目の前に魔法のように広がっていたのです。そこから始まった物語の数々は、魅惑に満ち溢れ、毎日がわくわくするような発見の連続でした。

戸惑いよりも、一人の人間としての自分の身軀を感じ、爽快感すら覚える様である。一方、組織の中での名刺は、言わば公的なモノだから、会社・団体の名前や住所が書かれていて、それを公的な場で使うのは当然のことながら、友人・知人等の明らかに私的な相手にも平気か?これを渡していた。これは公私混同と

対し、いわゆる「折り合う」の意味であり、「居合せ」とか「鞆の内」と称し、日本刀をもって平素から抜刀、斬刀などの技を磨き敵が不意打ちに斬り付けて来ても、直ちにこれに対応し「後の先」において迅速に抜刀し、鞘離れの瞬間に勝負を決する抜刀術であります。この刀法の奥には心身を鍛錬し、人格を修養するという人生の大事に終生役立つものがあります。層合の歴史は室町時代中期(約四五〇年前)、奥州山形、



エジプト・スエズ運河を航行する飛鳥

船に勤め、船長として外国航路にも乗り込んでいたそうである。幼い頃、父が語ってくれた外国の珍しい話の奇心で、どれほど私の好奇心を刺したかでしょう。きっと大人になったら父と同じ旅をしよう、いつも思っていたのです。澄んだ星空の下、スエズ運河を通りました。父はよくこの航路の話をしてくれました。夜空にかかる天の川をみていると、父が隣に立っているのを感じました。

彼との出会いは昭和二十五年(一九五〇年)天高啓明寮での生活からである。もの静かな振舞いと真面目さ、正義感の強い人、との印象が残っているが、その後お互いにそれぞれの道へ進み、再会したのは五十歳近くになってからの同窓会の席であった。それから天五会ゴルフコンペ等で年一回くらいは会い、近況を話し合う機会も多くなっていったが、六十歳近くになってお互い定年期に近づいた頃、彼の元気のなさ、存在感のうすさが目立つようになり、そして同窓会やコンペ等にも姿を見せなくなり、気になっていったところ、同市内に住むO君より、彼の病状良くないらしい、入院加療中との話が伝えられ、そして今回の計報となった次第であった。

思えば三十年前、昭和四六年、夏に三回登ったことがありました。二回目は六六歳の父(天中十四日)と登った時、頂上付近で人影が無くならず、八月三日と言うのに雪が降りだしました。真っ白に積雪した中で二人だけの貸切の富士山頂で、毎ビールで乾杯しました。この事が父の終生の自慢話となり、焼印の沢山押された金剛杖が宝物となりました。

思えば三十年前、昭和四六年、夏に三回登ったことがありました。二回目は六六歳の父(天中十四日)と登った時、頂上付近で人影が無くならず、八月三日と言うのに雪が降りだしました。真っ白に積雪した中で二人だけの貸切の富士山頂で、毎ビールで乾杯しました。この事が父の終生の自慢話となり、焼印の沢山押された金剛杖が宝物となりました。

思えば三十年前、昭和四六年、夏に三回登ったことがありました。二回目は六六歳の父(天中十四日)と登った時、頂上付近で人影が無くならず、八月三日と言うのに雪が降りだしました。真っ白に積雪した中で二人だけの貸切の富士山頂で、毎ビールで乾杯しました。この事が父の終生の自慢話となり、焼印の沢山押された金剛杖が宝物となりました。

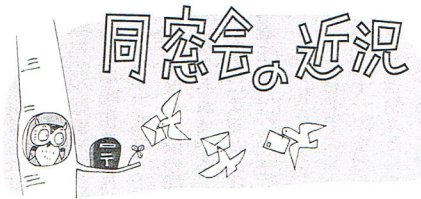
思えば三十年前、昭和四六年、夏に三回登ったことがありました。二回目は六六歳の父(天中十四日)と登った時、頂上付近で人影が無くならず、八月三日と言うのに雪が降りだしました。真っ白に積雪した中で二人だけの貸切の富士山頂で、毎ビールで乾杯しました。この事が父の終生の自慢話となり、焼印の沢山押された金剛杖が宝物となりました。

### 原稿募集

平成15年7月20日に次号(14号)のあまたか関東NEWSを発行いたします。皆様のご寄稿をお願いします。

#### 近況だより

- 記事内容
  - 趣味、旅の思い出、珍しい話、定年後の生活、子供や孫の話等
- 寄稿要領
  - 字数/800字程度
  - 寄稿者の写真、内容を印象つける写真類
  - 締切/15年5月31日



# 同窓会の近況

## 天高テニス部OB会

出井 昇 (高一・熊本在住)

第九回天高テニス部OB会(平成四年よりソフトテニスに改称)を二名参加で阿蘇郡久木野村のグリーンピア阿蘇で開催した。本大会は隔年ごとに開催し、第一回は天高コートで今はじき山本義孝、山並兼武両先生も参加され、以後熊本、長崎、天草と回を重ねてまいりました。OBと云っても超OBばかりで今回も一回生三名、二回生二名、三回生四名、五回生十一名で、試合も寄る年波には勝てず、視力減退、体重オーバー等珍プレー、迷プレーが続出しましたが怪我人もなく無事終了。



三回生の坂田、上田君だけは日頃の節制と努力の成果を十二分に発揮しました。夜の部は前田さん(旧福岡)の黒田節、古賀さん(旧岡部)のハワイアンダンス、有志による牛深ハイヤ節、ゲーム男のカラオケとなごやかなひと時を過ごし、最後はみんなで輪になって校歌を歌って解散しました。翌日は関東、関西組は秋の高千穂、五回生と天草組は由布院に遠征、二年後の再会を約束して別れました。速くから参加していた関東組の宮崎、糸田、小川、山中の諸氏、関西組の金子、坂田の諸氏、本当にありがたうございました。

## 第七回天無会総会

### 箱根で開催 記念文集も作成

木原 莊一郎(高六)

去る十一月十四日と十五日に於いて、箱根湯本温泉ホテル「おかだ」で天無会(天高六回生)総会が天草を含め総勢六十名(内夫婦二組)の出席のもと、賑やかに開催された。十四日の朝、東京駅をスタートした貸切バスは羽田空港で九州からの参加者を乗せ、東京湾アクアラインの「海ホタル」を巡り、箱根湯本へと向かった。



行き帰りの貸切観光バスの中は「同窓会第二会場」となり東京に着いてからの屋形船での東京湾遊覧(第三会場)では海から眺める東京の夜景に皆々感激と満足の声しきりの中、最終の第三会場で第七回総会も幕となった。

## 第二五回生卒業三十年記念関東地域同窓会を終えて

坂本 秀明(高二)

天無会の総会は昭和五七年の第一回の始まり、この二十年間に原則的に五節目の年に行われ、既に六回を終えているが、今回は二年後の古希同窓会のプレ総会として関東支部(支部長松下一哉)の主管で行ったものである。文集が発刊され、寄稿したのは六三名。B5版約百頁の冊子となった。出来上がった冊子は、総会出席者の記念品となり、欠席者には後日送付した。

ほぼ毎年、四五六年過ぎ去った今日まで永々と続いていきます。その間、秀才(勉強組)弥太郎(クラブ活動組)隔てなく、途中からは、女性組も大勢参加するようになり、また、熊本・関西組も上京を樂しみにしている者もいます。それに、世紀末は天友会の呼びかけに応じて地元天草在住の八回生有志が、天友会を立上げ、卒業四五年ぶりのオーストリアを企画。全国各地に案内状を発信すると、それに呼応して、あちらこちらから天友会の十七名を含む総勢二十七名が、本渡のホテルオアシヤンに、馳せ参じて来ました。

## 天友会 は青春

野崎 浩一(高八)



天高八回生の関東の同窓会「天友会」が生

まれたのは昭和三十一年天高を卒業してそれぞれ夢と不安を抱いて、進学、就職の為に上京して、一年が過ぎようとする頃、誰が言うともなく、渋谷の飲み屋に集まったのは、九名の武者でした。それから、

このような強い結びつきはいったい何故だろうかと思ふ。単に、同窓会・同回生だけでなく、青春の一時期、同じ環境・同じ土壌で、共に何か(勉強、部活動)に打ち込み、培ってきた心ではないかと思う。今年も九月には一泊旅行の計画があります。一日千秋の想いで胸を弾ませ、案内状が届くの待つようです。天友会がいつかはることなく、続くように感動をもつて念じつつ。

会も終わりに近づき、今回出席できなかった同期の方々からの披露および今回残念ながら出席できなかった恩師、吉岡先生、白木先生、折口先生、牛島先生、川野先生からのメッセージを披露した。

メインのビンゴゲームが始まった。景品は皆が持ち寄ったものだが、特に鶴田一郎君と藤川富次君が高級品を提供してくれた。一郎君は自分の作品十五万相当二点、藤川君は空気清浄機が六点等々。

老境に近づいてこれからも、友を大切に健康寿命を全うしたいものだ。



先生から祝辞を頂いた。「皆さん取ったばってん高校の時のこと、願しとるね」とか、思い出話に加え、また「今時、大変な思いをしていの方もいるかもしれないが、皆さんがんばって下さい」等激励を頂いた。歓談の中、近況報告をクラス別に壇上にあがり、それぞれ思い等を話した。

当日は五十年振りに顔を合わせる人もいて戦友会なみの集会であった。六十の中途を過ぎた大半が現役引退し、いわば隠居の身分であるが未だ未だ意気ケンコウな人も多く、間もなく古希を迎える年代とは思えない雰囲気であった。話題の中心は健康、家族、天草への想いなどであるが、これから天草で暮らしたいと思っても、家族と離れてまで行く勇気は殆どないようだ。皆貧しい時代の天草を知っているから只懐かしいだけで現実には踏み切れないのが本當の気持ちだろう。

青雲の志を抱いて五十年、

青雲の志を抱いて五十年、

## 関東天五会 三周年大会

森 廣司(高五)

本年度三月天高卒業五十年の節目を迎えることになった天五会(昭和二十八年卒)では昨年久しぶりの忘年会を開催した。関東地域在住者は約六十名、内三十名が青山表参道の「ひごの屋」に参集した。この店は天高十一回の長谷場亮祐氏が経営する、うまい、やきとり!!が評判の店で東京の中心地区にあつて交通の便もよく、集まりやすい場所である。

会も終わりに近づき、今回出席できなかった同期の方々からの披露および今回残念ながら出席できなかった恩師、吉岡先生、白木先生、折口先生、牛島先生、川野先生からのメッセージを披露した。

青雲の志を抱いて五十年、

青雲の志を抱いて五十年、

平成16年11月 35周年を迎えます

**有限会社 いかりや**

鶴岡 幸枝 をしをり (御所浦町出身)

新宿店 東京都新宿区百人町1-5-6 白萩ビル1階  
電話 03(3209)3550番

予約 東京都新宿区大久保2-33-37-203  
電話 03(5272)8825番  
FAX03(3719)0654番

**ペンション 銀河**

〒378-04 群馬県利根郡片品村花咲 2792  
TEL 0278-58-4367

永井 建二(10回生)・敏子(16回生)

# 創立から二十年の歩み



**酒井 孝幸(高五)**  
 本年も二月二十二日に当  
 同窓会総会が開催されるが  
 早いもので第十八回目を迎  
 えることになり、創立当時  
 の事情や継続への関係者の  
 努力について振り返ってみ  
 て皆様の参考になりたい。

中国風に云って、最初に  
 井戸を掘った人々そしてい  
 つも清水が飲めるように維  
 持、継続に力をそそいだ  
 方々に、敬意と感謝の心を  
 込めてこれからの同窓会の  
 発展と活性化を図り、後輩  
 の方々へ引き継いでいくた  
 めの指針とならばと、願っ  
 てまとめることにした。

現在同窓生は旧中、高女  
 を含めて二十才代から八十  
 才まで約六十年の年代の  
 方々が対象になっている。  
 在学中のなじみとしては上  
 下三年位しか顔や名前が知  
 らないことが普通であり、  
 先生方、授業、部活などの  
 思い出も十年離れると共通  
 の話題にはなりにくい一面  
 もある。しかし何故、どう  
 して二十年も続けられて来  
 たのか。

天草高等学校関東支部の  
 創立総会は昭和五十八年  
 (一九八三年)八月二十七  
 日、千代田区一ツ橋の如水  
 会館で開催されている。当  
 時の案内書によると初代会  
 長に就任した村上義行氏  
 (高一)始め旧中卒業の方、  
 (高一)始め旧中卒業の方、  
 亮祐氏(高十一)など十五  
 名の方々が世話人として活  
 躍している。創立同窓会に

かり、お互いの消息を知る  
 機会も増えてきたが、当初  
 は団体、組織化によりお互  
 いに励まし合い、友の近況  
 を知って自分も頑張る糧に  
 するという純粋な気持ちの  
 他に、自分の仕事に利用す  
 るための参加や、勤務先や  
 肩書を見てダイレクトメー  
 ル用に使われて不愉快な気  
 持ちは感じた方も多いと思  
 われる。また、知らずの間  
 に好き嫌いの流派のような  
 人の集まりも出来てなかな  
 か組織の運営には難しい面  
 もあったようだ。また、仕  
 事運や健康に恵まれず総会  
 に参加できない人達へメッ  
 セージとして会報発行は当  
 を得たものだったと思う。

現在の会員数は約千二百  
 名の長期を西田九仁夫氏(高  
 六)、十一、十二回を州崎  
 千尋氏(高七)、十三、十  
 四、十五回を廣田和史氏、  
 十六回以降は池崎カヨ子女  
 史(高十四)が就任してい  
 る。

次に会報は平成六年十月  
 一日付けで創刊号を発行  
 し、平成十四年七月まで第  
 十二号を数えた。当時の西  
 会長が発案により、同窓会  
 活動の活性化に寄与しよう  
 との主旨で始められ、酒井  
 孝幸氏(高五)、州崎千尋  
 氏(高七)が主な編集に携  
 わり途中健康上、また仕事  
 の都合で参加出来ない年も  
 あったが、どうにか繋いで  
 第十二号より平田俊清氏  
 (高十)が中心となって継  
 続発行に望みを託してい  
 る。

同窓会の結成・発足によ  
 って名簿作成にも拍車が掛  
 貴緑がある方でした。

名、うち旧中六十名、高女  
 八十名、天高千六十名が登  
 録されているが、年一回の  
 総会への出席者は約二百  
 名、会費納入者は四百名程  
 度となつて居る。若い年代  
 の方々の参加が少なく、同  
 窓会そのものが老人クラブ  
 化していくことに懸念をも  
 つ人も多く、若い方々の参  
 加を促進し、現実化してい  
 くことがこれからの最大の  
 課題と云えよう。

当原稿をまとめるに当た  
 って資料提供、聞き取りに  
 ご協力頂いた、森下一人顧  
 問(高二) 廣田和史顧問  
 (高四) 小川矩正会長(高  
 五) 西田九仁夫元事務局長  
 の方々にお礼申し上げます。

昭和五十八年八月、如水  
 会館で第一回天草高等学校  
 関東支部同窓会が開催され  
 た。なせ、初めてのことに  
 村上市会長と色々と協議す  
 る中、ある日、私が利用し  
 ていた新宿のクラブに行き  
 話の中で会長、会長と云う  
 言葉が出て、たまたまその  
 店に来ていた私の会社の副  
 社長がそれを聞きつけ、営  
 業先のお客と思ひ込み、高  
 価なレミーマルタンを持っ  
 て席に寄り、日頃は小川が  
 お世話になっております、  
 と挨拶され、後で同窓会の  
 会長と知り大目玉をもらっ  
 たことがあった。それだけ  
 ばらしい見識をお持ちの方

同窓会の結成・発足によ  
 って名簿作成にも拍車が掛  
 貴緑がある方でした。

## 歴代会長の思い出



### 小川 矩正(現会長)

昭和五十八年八月、如水  
 会館で第一回天草高等学校  
 関東支部同窓会が開催され  
 た。なせ、初めてのことに  
 村上市会長と色々と協議す  
 る中、ある日、私が利用し  
 ていた新宿のクラブに行き  
 話の中で会長、会長と云う  
 言葉が出て、たまたまその  
 店に来ていた私の会社の副  
 社長がそれを聞きつけ、営  
 業先のお客と思ひ込み、高  
 価なレミーマルタンを持っ  
 て席に寄り、日頃は小川が  
 お世話になっております、  
 と挨拶され、後で同窓会の  
 会長と知り大目玉をもらっ  
 たことがあった。それだけ  
 ばらしい見識をお持ちの方

### 西 功会長(高二)

明治大学の就職部長の  
 時、幹事会や総会で明大の  
 記念館をよく、安く利用さ  
 せて戴きました。また私の  
 会社の総務部長をつれて就  
 職のお願いに行ったら、日  
 頃の深いお付き合いがなけ  
 れば学生は廻せませんとい  
 う位、学生は金の玉子でし  
 た。当時明大の西部長はテ  
 レビ出演でもオナジミの顔  
 でした。

### 廣田和史(前会長高四)

昭和六十二年に四回生の  
 学年幹事に就任し、昨年三  
 月に退任するまでの十五年  
 間を振り返ってみたい。つ  
 いにお願ひまで書いてしま  
 った。関東支部の一層の発  
 展を願うばかりであつて  
 何卒、ご了承頂きたい。



同を引張ってもらいまし  
 た。いつも綿密な計画を立  
 て幹事長一同頭が下がる思  
 いでした。これからもご指  
 導をお願い致します。

## 十五年間を振り返って



同を引張ってもらいまし  
 た。いつも綿密な計画を立  
 て幹事長一同頭が下がる思  
 いでした。これからもご指  
 導をお願い致します。

二、年会費について  
 関東に存在する同窓生は  
 約二千四百人だが、実際に  
 は、その内、約千名が中  
 心になって関東支部は動い  
 ている。つまり、定期総会  
 に出席した方・年会費を一  
 度でも納めて頂いた方・幹  
 事より推薦願った方々であ  
 る。この方々に会報を通じ  
 て年会費(二千元)をお願  
 いしているが、現在のところ  
 年間三百五十名前後の納  
 入者で、しかも年々減少の  
 傾向にある。

一、財務について  
 幹事に就任した頃は、な  
 にしろお金が無くて何をす  
 るにも役員が立替であり、  
 大口の立替をして頂いた先  
 輩のお蔭で大いに助かっ  
 た。

なんとか財政を立て直さ  
 なければと思ひ、会員名簿  
 の発行に便乗し広告料収入  
 を当て込んだが、売れたの  
 はわずか二百部で見事に失  
 敗し、赤字を膨らみます始末  
 であつた。

従つて、引続き広告料・  
 御樽に頼らざるを得ず、一  
 部の方より「強盗みたいな  
 ものだ」と言われながらも  
 六十三年度決算で赤字を解  
 消することができた。ご協  
 力を頂いた各位に心よりお  
 礼申し上げます。

議は議事がかどらず非常  
 に苦労した。その後、貸し  
 会議室に切替えたが「何か  
 コーヒーなど一品」を注文す  
 る仕組みなので希望を聞い  
 たらやはりビール(但し小  
 瓶)の注文が多かった。

定期総会の開催は、時  
 期・場所・講演等の催し・  
 会費が安い：など要件が揃  
 ってないとうまく行かず難  
 しい。長年、十月開催して  
 いたが、秋は行事が集中し  
 時的に不向きなようであ  
 り、新宿のゼンシテイの  
 如く会場・料理も良かった  
 が、徒歩二十分ではアツク  
 スが悪くて参加も少なくな  
 った。

第十七回の恵比寿「ピヤ  
 ホール兼酒館」での総会は  
 春一番の三月を選び、講演  
 (神戸女子大教授外園一人  
 天高六回生)も非常に良  
 かったし、久しぶりの盛況  
 (参加者百六十三名)であ  
 った。忘れてはならないこ  
 とは、五回・六回生が四十  
 一名も参加したことであつ  
 た。同期生が熱を入れてく  
 れたのであろう。総会がこ  
 うも違ってくるものであ  
 る。今後ともこうありたい  
 ものである。

多数の方々が参加し喜ん  
 で頂く顔を見て役員は疲れ  
 を忘れ来年に向けて、また、

スタートを切るものであ  
 る。皆さん、是非総会にご  
 参加頂きたい。

五、終りに  
 同窓会、同期会、あるいは  
 はOB会と名がつく会は沢  
 山あるが、元気でいる限り  
 出席したいのが、①あまた  
 か関東支部②四天会(今年  
 は古希大会を本渡で開催)  
 ③ふるさと岩北会④三十八  
 年勤続した企業OB会であ  
 る。

坂瀬川の海岸で赤フンド  
 シでの蛸取り、田ん草取り、  
 啓明寮での黄色いメシ：  
 踏まれてもへこたれな  
 い雑草みたいな自分を育て  
 てくれたのが天草であつ  
 て、企業人として厳しく育  
 てられたのが東京のサラリ  
 ーマン生活である。集まり  
 があれば特別なことが無い  
 限り出席して当時を懐かし  
 み、一日を楽しく過ごした  
 いものである。

皆さんのご健勝とご活躍  
 を祈りいたすと共に、今  
 年度の総会でお会いできる  
 ことを楽しみにしております。



創立二十周年を迎える  
 に際し、多くの方から  
 寄稿を頂きありがとうございます。  
 また、本号からは有馬  
 寧雄君(高十)の協力を  
 得て無事発行することが  
 できました。厚くお礼申  
 し上げます。

- 平田 俊清(高十)  
 森 広司(高五)  
 伊藤 博通(高十)